



東京都立多摩桜の丘学園学校だより



令和 7 年 9 月 1 日発行 第 6 号

多摩市聖ヶ丘 1-17-1

電 話 042-374-8111

発行者 校長 西田 良児

2 学期のスタートです

校長 西田 良児

2 学期が始まりました。6 月から猛暑が続き、長い、長い暑い夏が続いています。8 月は、連連日 40℃を
超えたとニュースで報じられ、さらに渇水や線状降水帯による大雨、作物の不作など天候にまつわる報道が
連日続きました。9 月もしばらく高温状態が続く模様です。体調には十分気を付けてお過ごしください。

本日、笑顔で登校してくる児童・生徒の様子からは、健康に気を付けながら暑さに負けずに元気に過ごし
てきた様子がうかがえました。そうした姿を前にこの 2 学期も本校に通う児童・生徒がそれぞれの持ち味を
生かして生きていく力を育むため、引き続き全力を尽くしてまいります。

私たち教員も、この夏休み期間、2 学期の準備のための教材準備や自身の専門性や知見をさらに高めるた
めの研修等を行っております。研修や研究会について一部紹介します。

7 月 28 日には、本校で避難所設営の訓練（研修）を行いました。本校は、多摩市との間に福祉避難所開
設について取決めをしており、大規模災害時に、多摩市の要請に基づき福祉避難所を開設することになって
おります。今回は、開設の要請を受けたことを想定した福祉避難所開設までの手順等を確認する訓練（研修）
を実施しました。保護者の方や、多摩市、消防署の方にも多数参加いただき、開設までの手順等を一つ一つ
確認しました。本校 PTA から東京都に対して、「大規模災害時における障害児者への避難所の支援体制の
整備の強化について」の御要望をいただいております。保護者の方の関心の高さを感じております。もしもの時
の備える訓練（研修）について御紹介させていただき、学校の取組に御理解いただければ幸いです。

8 月下旬には、全国特別支援学校 PTA 連合会主催の全国研究大会が大阪と東京で開催され、本校 PTA 役
員の方々と共に参加してきました。大会では、「地域」「進路」「医療」「生涯学習」「防災」などをテーマに分
科会が行われ、全国各校での実践が報告され、テーマにまつわる情報交換も活発に行われました。肢体不自由
教育校の大会では、基調講演の中で「人との関わりの中で会話や行動、気持ち等を調整する力が社会性の
発達を支えるポイント」とのお話がありました。また、知的障害教育校の大会では、「ウェルビーイングは自
己選択自己決定から」をテーマにシンポジウムが開かれ、シンポジストから「本人の意思を中心においた支
援（意思決定支援）が自立の本質であり、体験や経験を通し主体的に自立していくことへの期待（自立させ
るものではなく）」とお話がありました。今大会から、生活の場を限定せず人との関わり合う力を育む重要性、
日常の中で本人の意思をしっかりと受け止める積み重ねが自己肯定感を向上させる大切な要素であることな
どを改めて学びました。また、PTA の在り方については、全国的な話題でもあります。特別支援学校に通
う児童生徒のために保護者同士のつながりや行政等への継続的な要請等、これまで PTA が担ってきた役割を
再認識する機会となりました。

2 学期が始まるにあたり、今一度基本に立ち返り、保護者の皆様や地域の皆様との協力のもと、日々の指
導を充実させてまいります。そして、子供たち一人一人の実態を踏まえ、伝える力を育み、体験的な学習活
動を踏まえた可能性を追究していくことを目指し教育活動を進めてまいります。

今学期も、本校の教育に御理解と御協力よろしくお願い申し上げます。